

棚原 健太（歌三線） Kenta Tanahara, Uta Sanshin

沖縄県浦添市生まれ。中学校の学校行事で三線と出会う。沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻への進学を機に、19歳で本格的に三線を始める。同大学卒業、同大学院琉球古典音楽専修および国立劇場おきなわ組踊研修修了。公共ホール邦楽活性化事業の登録演奏家に選出（令和4・5年度）。現在は国立劇場おきなわ主催公演他、沖縄県内外で活動。琉球古典音楽野村流保存会教師。

町田 倫士（琉球箏） Norito Machida, Koto

沖縄県沖縄市生まれ。幼い頃からエイサーが大好きで、母の勧めで三線をはじめる。16歳で琉球箏曲に出会い、その音色に魅了され伝統芸能の道へ。琉球大学法文学部国際言語文化学科では沖縄の歴史文化を学ぶ。沖縄県立芸術大学院琉球古典音楽専修および国立劇場おきなわ組踊養成研修修了。現在は国立劇場おきなわ他、沖縄県内外で活動。琉球箏曲興陽会、琉球古典音楽湛水流保存会師範。

亀井 美音（琉球笛） Mion Kamei, Fue

神奈川県川崎市生まれ。小学校以降は沖縄県豊見城市で育つ。幼少の頃より音楽好きで、高校で三線との出会いを機に沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻へ進学。同大学卒業後、カナダとオーストラリアの長期滞在時に三線教室を開講。2019年 シドニーオペラハウスにて「令和日本伝統芸術祭」出演。2023年メルボルン県人会主催「結の宴」企画構成や現地の伝統楽器と共演する他、国内外で活動。琉球古典音楽野村流古典音楽保存会 笛教師。